

◆ 第60回～第73回（14年間）全国大会年次学術講演会で発表された論文のうち、場所打ちコンクリートの養生に関する論文数の推移をまとめました。

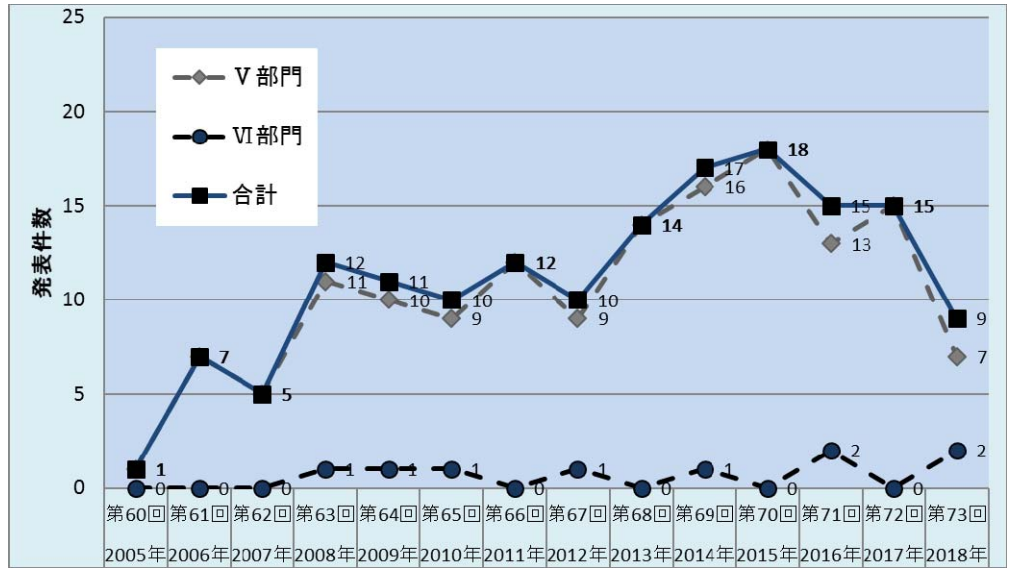
検索方法

表題およびキーワードから一般的な材料および配合の場所打ちコンクリートで、特に表層コンクリートの品質に関する養生方法に関する論文の件数を算出しました。第V部門、第VI部門ごとに算出しています。

給水、水分逸散抑制効果に関する研究：キーワード“養生”のみで検索。

表層品質の評価方法、ひび割れ抑制、寒中コンクリート対策は除きます。

塗布系材料による効果に関する研究：キーワード“含浸材”または“養生剤”または“改質材”で検索。



塗布系材料による品質への影響に関する論文数

2017年制定土木学会コンクリート標準示方書 表8.2.1 湿潤養生期間の標準

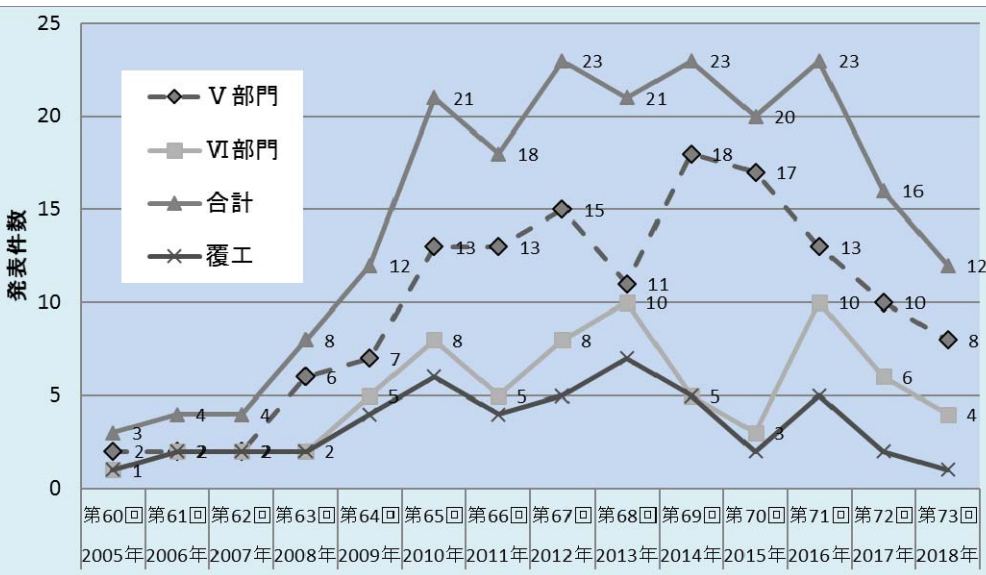
日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	早強ポルトランドセメント
15℃以上	5日	7日	3日
10℃以上	7日	9日	4日
5℃以上	9日	12日	5日

【解説】(2)について・・・表中の数値は、十分な給水養生を行った場合を対象として、・・・ただし、コンクリートの品質の向上が期待できる場合には、湿潤養生期間を長くすることが望ましい。

アクアカーテンによる給水の実施によって十分な給水養生を行いましょう。

アクアカーテンを用いた給水養生がコンクリート構造物の耐久性の向上・長寿命化に貢献します。

アクアカーテンに関しては、アクアカーテン普及会のホームページ<http://www.aqua-curtain.jp>で詳しい情報を提供しています。



給水、水分逸散抑制養生による品質への影響に関する論文数

「表層コンクリートの品質確保がコンクリート構造物の耐久性向上に不可欠である」との認識の広がりに伴って発表件数が徐々に減少しています。